



岐阜県羽島郡川島町立川島小学校
 伊佐治 晃

単元指導計画 (全体時間 12 時間)		
1次	拍子の違いを感じ取り 拍の流れに乗って表現する。	2 時間
2次	拍子の違いや情景の変化を感じ取って、曲想を工夫しながら、音楽をつくって表現する。	9 時間
3次	情景を思い浮かべ、協力して表現を楽しむ。	1 時間
本時の目標と展開 (本時はその 5 時間目) 平成 12 年 11 月 児童数 36 名		
自分のイメージに合うリズムパターンや速度、音色を選択して表現を工夫し、楽しむことができる。		
時間	学習活動	活動上の留意点 評価
1	課題がわかる リズム伴奏や速度を工夫して、自分たちの「おどろう楽しいポーレチケ」をつくろう	
5	グループの仲間の作品を聴き、感想や修正したほうがよい点を伝える。 ・くるくる回っているのだから、もう少し速くしてもいいと思うよ ・楽しく踊るのだから、もう少し明るい音を選んだらどうか。	曲想を工夫する音楽の構成要素 (リズム伴奏 楽器 速度) は常に意識していくように掲示しておく。 前時に聴いておき、気付いたことはメモしてある状態にしておく。
15	各自で作品の修正し、完成させる。 ・リズム楽器をもう少し軽めの音に変えてみようかな。 ・どんなリズムがあったかな。共有データを聴いてみよう ・はずむ感じが出るのはどの楽器かな。順番に試してみよう	共有データを活用し、曲想に合うリズム伴奏を選びながら音楽づくりをすることができる。 共有データのリズムパターンを何度も聴いてみるように助言する。
10	グループ内で作品の交流、最終的な修正を行なう ・前のリズムよりもはずむ感じが出たね。 ・鉄琴より木琴のほうがはずんだ感じにならないかなあ。	話し合いの観点が音楽の構成要素に絞られているかチェックしていく。
14	全体で、工夫したことを発表し、作品を聴きあう。 ・はずむ感じを出すためにリズム楽器を2種類使ってみました。 ・4番は夕方だから少し速度をゆっくりにしました。	各自が描いた各場面の絵を掲示し、それを使ってどんな曲想を目指したか、どんな工夫をしたのかを発表してから曲を流すようにする。